

2009 年度

東京子ども図書館 年次報告

2010年6月発行

財団法人東京子ども図書館 〒165-0023 東京都中野区江原町1-19-10 Tel.03-3565-7711 Fax.03-3565-7712
URL <http://www.tcl.or.jp>

成長をつづける

バラのよう

理事長 松岡 享子



今年も館のバラが美しく咲きました。12年前、建物の完成と同時に植えられた紅白のバラは、入り口の両側から互いに手をのばし、今ではひさしの上でつながって、たくさんの花でレンガの壁面を彩っています。このバラは、ファンジョンの愛らしい短編「小さいお嬢さまのバラ」にヒントを得て植えられました——ここに、男の子（赤いバラ）も女の子（白いバラ）も大勢やってくるように、と願って。

おかげさまで、この建物は、おとなも、子どもも大勢の人が出入りする場所に成長しました。安定した場を得たことで、館の活動に広がりができたことを感謝とともに実感しています。この間返済をつづけてきた建設のための借入金も、平成24年の春には完済する予定です。おりしも公益法人に関する新しい法律が施行され、私どもも、新しい制度のもとでの「公益財団法人」の認定を申請することになりました。この認定を受けるためには、館の運営に当たる事務局を設置することが必要で、それにともなって館の内部の組織も整備されました。

東京子ども図書館は、土屋文庫やかつら文庫の設立から数えると半世紀以上、現在の法人になってからでも36年になります。組織も人と同じく有機体です。生まれるときがあり、成長するときがあります。そのあとは、安定して持続する状態にはいるのがふつうですが、人に老いや死があるように、組織にも停滞や衰微の危険があります。それを避けるためには、新しい活動を生み出すこと、新しい人材を得ること、そしてことある毎に、組織を活性化することが大切になってきます。

今回の法改正は、私どもにとって、組織の見直しのよい機会になったと思います。この春には、30代の有能な職員も加わりました。館のバラのように、おだやかではあっても、着実に成長をつづける組織体でありたい、と願っています。

- 4月
- ・研修生始業式（1日）
 - ・短期お話の講習会・2日コース（9、10日）
 - ・児童室のお話会（10日、7/10、10/9、1/22）
 - ・第26期お話の講習会始まる（17日）
- 5月
- ・児童室こどもの日開館
「おばあさんのいす」お話会（5日、10/14、1/27）
 - ・第13期子どもの図書館講座発表会（16日）
 - ・かつら文庫にて2008年度事業報告と決算承認のための理事会・評議員会（25日）
 - ・松岡理事長、韓国・ヌチナム子ども図書館主催のシンポジウムにて講演（30日）
- 6月
- ・中野区立江原小学校でお話（9、16、19日）
 - ・第4期東京子ども図書館研修プログラム開講（13日）
 - ・松岡理事長、韓国・国立青少年図書館主催のシンポジウムにて講演（19日）
 - ・第4期わらべうた連続講座（18日、7/9、7/16、9/3、9/17、10/8）
- 7月
- ・中野区立みづのとう幼稚園招待（14日）
 - ・児童室夜のおはなし会（18日）
 - ・わらべうた1日講座（30、31日）
- 8月
- ・夏季特別休館（9～24日）
 - ・「ことばの贈りもの」刊行（24日）
- 9月
- ・「ホットケーキ」刊行（30日）
- 10月
- ・豊橋市「おばあさんのいす」お話会（3日）
 - ・お話の講習会・第7期リフレッシュコース（4、5日）
 - ・第14期子どもの図書館講座（10日、11/14、1/16、2/13、3/13）
 - ・池田正孝氏スライドとお話（16日、2/19）
 - ・学習院初等科でお話（23日、11/13、3/10）
 - ・T&T「たのしいブックトーク」（24日）
- 11月
- ・中野区立緑野中学校でお話（6日）
 - ・島多代氏講演会（7日）
 - ・君島久子氏講演会（20日）
 - ・バザー（23日）
- 12月
- ・かつら文庫の改修と新公益法人への移行についての理事会・評議員会（17日）
 - ・児童室クリスマス会（19日）
- 1月
- ・短期お話の講習会・中級1日コース（21日）
 - ・月例お話の会・400回記念お話会（26日）
- 2月
- ・世田谷文学館・石井桃子展始まる（6日～4/11）
 - ・第25期お話の講習会修了お話の会（11日、修了式3/5）
 - ・松瀬七織氏・湯沢朱実氏講演会（26日）
- 3月
- ・新評議員選任のための選定委員会（11日）
 - ・宮城正枝氏講演会（12日）
 - ・かつら文庫改修工事（15～30日）
 - ・2010年度事業計画と予算案承認のための理事会・評議員会（27日）
 - ・賛助会員の集い・研修生発表会（29日）

当館は2009年1月に設立35周年を迎えました。ここ数年、石井桃子名誉理事百歳、かつら文庫50周年など記念事業が続きましたので、特別な事業は行わず、逆に夏季一斉休暇をとらせていただき、気分一新して、秋からの仕事に向うことができました。

児童室の利用数はやや下降気味ですが、わらべうたを通しての乳幼児の来館が増えています。一方、かつら文庫では、高学年のご常連が健在で、読み応えのある作品を次々に読破しています。次は何を紹介するか、図書館員としての力量が試されます。

お話の講習会、子どもの図書館講座、わらべうた連続講座など各種講演・講座は、例年通り熱心な参加者を得ました。1972年に始まった月例お話の会は1月に400回を迎える、みなさまから寄せられたアンケートをもとに記念お話会のプログラムを組みました。また、愛蔵版おはなしのろうそくの9巻目「ホットケーキ」の刊行に合わせ、収録したお話を全部語るお話会も催しました。その他の出版物では、松岡理事長の講演をまとめた「ことばの贈りもの」が好評で、約半年で増刷の運びとなりました。

「おばあさんのいす」事業では、昨年度に続き、日系ブラジル人の子どもが多い豊橋市の小学校に、地元の方々と連携してお話を届けました。ブラジル民話集の刊行という新プロジェクトも進んでいます。

外部からの取材では、石井桃子さん関連が目立ちました。また世田谷文学館主催の「石井桃子展」に、資料提供、図録作成、お話会などで協力しました。

さらに今年度は、公益財団法人への移行を視野に入れた組織の再編や、石井桃子さんから遺贈された土地・建物の活用など、みんなで将来を見据え、討議する年でもありました。公益財団法人の認定を得るために、館の運営や会計管理に関わる事務力強化が求められるため、職員の募集を行いました。81名という多くの応募者から選考の結果、各々出版社と学校図書館で勤務経験をもつ30代の女性2名をお迎えしました。若い力を得て、これから課題に柔軟に、のびやかに取り組んでいきたいと思います。

III会計報告

2009年度 会計報告

2009年4月1日から2010年3月31日まで

収入総額 120,825,698
 支出総額 125,936,404
 次期繰越収支差額 5,777,679 (単位:円)

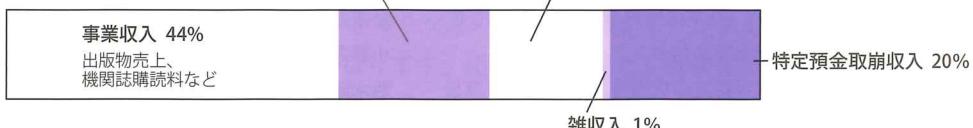
収入の部

科 目	金 額
基本財産運用収入	18,454,936
利 息 収 入	65,808
印 稅 収 入	18,032,802
配 当 金 収 入	356,326
寄 付 収 入	8,759,532
贊 助 会 費	14,867,193
事 業 収 入	53,272,100
出版物売上	34,121,066
機関誌購読料収入	9,242,509
講習会収入	4,181,820
講演会収入	368,600
お話の会収入	1,135,000
講師料収入	3,619,955
登録料収入	17,000
施設使用料収入	323,000
取材費収入	263,150
雑 収 入	666,196
預金利子収入	15,676
雑 収 入	650,520
特定預金取崩収入	24,805,741
石井桃子奨学金	4,305,741
図書館積立金	500,000
不動産購入積立金	20,000,000
(当期収入合計)	(120,825,698)
前 期 繰 越	10,888,385
収入合計	131,714,083

支出の部

科 目	金 額
事 業 費	68,115,417
人 件 費	41,805,627
図 書 館 費	851,399
機 関 誌 発 行 費	4,235,070
講 習 会 費	1,111,909
講 演 会 費	260,340
お 話 の 会 費	259,901
調 査 研 究 費	28,880
出 版 費	12,715,529
人 材 育 成 費	3,755,260
催 事 費	186,313
広 報 活 動 費	2,217,125
おばあさんのいす事業費	688,064
管 理 費	27,514,612
人 件 費	15,937,856
事 務 費	1,760,177
一 般 諸 費	5,626,402
会 議 費	74,248
租 税 公 課	4,115,929
借 入 金 返 済	7,806,375
不動産取得支出	20,000,000
特 定 預 金 支 出	2,500,000
石井桃子奨学金積立	2,500,000
(当期支出合計)	(125,936,404)
次 期 繰 越 金	5,777,679
支 出 合 计	131,714,083

■ 収 入



■ 支 出

